

明石工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	数学Ⅲ B-2	
科目基礎情報						
科目番号	5307		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気情報工学科		対象学年	3		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	新微分積分Ⅱ 高遠節夫ほか5名共著 (大日本図書)、同問題集					
担当教員	長尾 秀人					
到達目標						
(1) 微分方程式の意味を理解し、1階微分方程式の初等的な解法を身に付ける。 (2) 2階線形微分方程式の基本的性質を理解し、その初等的な解法を身に付ける。						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	初等的な微分方程式の解法を身に付け、使うことができる。		初等的な微分方程式の解法を理解できる。		初等的な微分方程式の解法を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	1階微分方程式、2階微分方程式を学習する。					
授業の進め方・方法	講義型及び演習型授業、適時課題・小試験など実施					
注意点	以下の内容は履修上不可欠である。新微分積分Ⅱ (上記テキスト) 4章微分方程式合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課					
授業の属性・履修上の区分						
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	1階微分方程式	1階線形微分方程式を解くことができる。		
		2週	1階微分方程式	1階線形微分方程式を解くことができる。		
		3週	1階微分方程式	正規形1階非線形微分方程式を解くことができる。		
		4週	1階微分方程式	正規形1階非線形微分方程式を解くことができる。		
		5週	1階微分方程式	非正規形1階非線形微分方程式を解くことができる。		
		6週	1階微分方程式	非正規形1階非線形微分方程式を解くことができる。		
		7週	1階微分方程式	完全微分方程式を解くことができる。		
		8週	演習	演習		
	4thQ	9週	2階微分方程式	2階線形微分方程式を解くことができる。		
		10週	2階微分方程式	未定係数法を用いて2階線形微分方程式を解くことができる。		
		11週	2階微分方程式	2階オイラー型微分方程式を解くことができる。		
		12週	2階微分方程式	定数変化法を用いて2階線形微分方程式を解くことができる。		
		13週	2階微分方程式	連立1階線形微分方程式を解くことができる。		
		14週	演習	演習		
		15週	総括	復習・発展		
		16週	試験			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	数学	数学	数学	微分方程式の意味を理解し、簡単な変数分離形の微分方程式を解くことができる。	3	後1,後2
				簡単な1階線形微分方程式を解くことができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7
				定数係数2階斉次線形微分方程式を解くことができる。	3	後9,後10,後11,後12,後13
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	後1
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	後2,後3,後4,後5,後6
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	後9,後10,後11,後12
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	3	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3					

評価割合			
	試験	課題・態度・発表・出席など	合計
総合評価割合	30	70	100
基礎的能力	30	70	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0